

市民ボランティア 森の仲間たち  
10周年記念イベント…仲間がいたから10年

写真や制作物等を使って、私たちの活動の様子を紹介しています！

管理センター2階ロビーにて **10周年**  
9月9日(日)まで開催！

### どうぶつ体験ミュージアム

開園の年から2010年まで、林間学園でその年の干支をテーマに考えた自主プログラムで部分参加し、子ども達と楽しく触れ合ってきました。

今年、10周年を迎えるにあたり、これまで林間学園で大勢の子どもたちに楽しんでもらったプログラムを一斉に紹介し、是非皆さんにも体験していただきたいと考え、この企画を行うことになりました。

多くの方々のご参加お待ちしております。

#### 【どうぶつ体験ミュージアムの内容】

- ☆サルの進化ワークショップ
- ☆ネズミとどんぐり
- ☆鳥のたまご
- ☆キリンのひみつ
- ☆タヌキクイズ
- ☆イノシシクイズ
- ☆なりきりネコ科のどうぶつ など

開催日 9月8日(土)・9日(日)  
開催時間 10:00~16:00 (随時受付)  
開催場所 管理センター 2階ロビー  
参加費 無料(別途要入園料)・事前申し込み不要

森の仲間たち活動紹介

## 森の仲間たち



「到津の森公園」公園事務所  
北九州市小倉北区上到津 4-1-8  
Tel 093-651-1895 〒803-0845  
<http://www.itozu-zoo.jp/>

# 森のお便り 9月号 2012年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」12年9月1日発行 通巻115号

## 到津の森公園

9月23日(日)

9:00~19:00

《入園料・無料》



9月23日(日)は、動物愛護デーです。

この日は、子どもから大人まで皆さま入園料無料で動物園をお楽しみいただけます。

動物愛護センター、北九州市獣医師会による楽しいイベントが盛りだくさん！

また、閉園時間を二時間延長して夜7時まで営業！  
ゆっくりと園内でお過ごし下さい。

※駐車料金、遊具利用、エサやりは通常通り有料です。

## 動物慰霊祭

昨年の慰霊祭以降、これまでに当園で亡くなった動物たちに献花します。

開催日時：9月23日(日) 9:30~ 10分程度  
場所：郷土の森林(もり) 動物慰霊碑前

天候などの都合により変更・中止することがあります。どうぞご了承ください  
詳しくは、HP もしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問い合わせ下さい。

## フレモコウ(吾亦紅・吾木香)

古くは「源氏物語」や「徒然草」にも登場する秋の代表的な野草です。

それにしても思いのこもった女性をイメージさせる漢字が当てられています。地味でつつましく生きるこの私も“また紅なり”“香気を秘めたり”と精一杯咲く姿、、、。見つけてほしい人にそっと訴えているのでしょうか。その雰囲気を楽しむ人は絶えません。

しかし実際に野に咲くフレモコウを見てみましょう。青空を背景にすっきり、1m程の丈で直立し、枝分かれしたそれぞれの枝先に暗紅紫色、長さ1~2cmの穂状の花をつけています。でも花といえども花びらはなく、ガクの集まりで花穂はカッチリ。

草原で日を浴びて群生するフレモコウはしおらしいというより、屈託のない生き生きした女性の姿を思わせてくれるのです。そして私にとってフレモコウは、切花としても魅力的な個性を感じさせる大好きな植物です。

定番のキキョウ・シュウカイドウ・フジバカマ・ミズヒキ等の秋草と共に活ければ、たちまち花野の澄みきった空気が生まれでて、少しも嫌味がありません。又、バラ等の洋風の花ともよく合い、特にユリの仲間との取り合わせは、どんな豪華な品種と合わせてもお互いの魅力を引き立て合い、見る者を楽しませてくれます。勿論フレモコウだけを寄せてリボンをかけたブーケ、シダ等のグリーンと共に大きなガラスポットに投げ込んだ姿も、大好きです。

フレモコウの自分の存在を埋もれさす事なく他の花も生かす、そんなポジティブな個性こそ素晴らしいと思えてなりません。

因みに最近では、蕾が宮中で使われる木瓜紋(モッコウモン)に似て、四つの割れ目がはいつているので「割れ木瓜」を名前の語源とするとの説が主流となってきているようです。園内では「里の生き物館」横の野草園で、園芸品種の30cm丈のものが見られます。

◎今年は何故か鳥や蝶・蜂等の姿が少なく感じられていましたが、秋風と共にビオトープ付近にカラスアゲハ・オハグロトンボ等たくさん飛来しています。懐かしいイモリ(アカハラ)がひょっこり現われる事もあります。

文:花咲くおばさん

# 花暦 長月

## 森のなかま・ワライカワセミ

6月30日に母(♀)姫、父(♂)ファボスとの間に待望のワライカワセミのヒナが誕生しました!!

姫は3月に福山市動物園からやって来たばかり。お見合い初日は♂ファボスに、大きなクチバシでガンガン攻撃し、完全にファボスはお手上げ状態…。勘弁して下さい…。と言わんとばかりに地面に縮こまっていました。…が、お見合いが進むにつれ、徐々に距離を縮め、あれよあれよという間にヒナが誕生しました!!

ワライカワセミは抱卵も子育ても♂♀協力して行います。ファボスには初めての抱卵&子育てですが、かいがいしく面倒をみています。初めてうまれたてのヒナにエサを運ぶときは、ぎこちなく、ぶきっちょで、口をあけて待つヒナになかなかエサをあげることができなかった父ファボス…。でも今では姫よりも我先にと、ヒナに上手にエサを運びます。

8月8日に巣箱から巣立ち、どれがヒナ?と迷ってしまう程、姿は大きくなりましたが、まだまだエサはファボスと姫のお世話になっています。そんなワライカワセミファミリーの姿、是非見に来て下さい。



飼育展示係 小林弥生